

北海之光

3月号 北海道教区報

主にあってはあなたがたの
労苦がむだになることはない
コリントI 15章58節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

「文化が違う」

苫小牧聖ルカ教会牧師・室蘭聖マタイ教会管理牧師

司祭 サムエル 吉野 暁 生

苫小牧に赴任して丸五年が経過した。今までで一番長く

いる教会だ。苫小牧には一つ、教区以外の教会とは違う働きがある。それが「ミツシヨン・トゥ・シーフェアラーズ(MtS)」。苫小牧港に立ち寄る外国人船員たちへの働きだ。残念ながらそれにかかりきりになるわけにはいかないが、英語を使って会話をする機会が増えた。しかも、MtSは世界的な組織で、毎年一回国際会議があり、会議は英語である。日常会話にも不便なのに、英語で会議とか、資料を読むのも大変だ。

今の会議は東アジア地区会議で、東アジアの様々な国の人たちが集まる。日本、韓国、中国、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ、インドネシア。そしてイギリス。この五年間毎年顔を合わせるので、会えば割と親

しく、身振り手振りを交えながらお互いに会話をしている。会議ではいつも、みんな違う文化圏なんだということを感じて。色々な国に行けば

食べ物も習慣も違う。違ったり前。だからみんなお互いに話して「理解しよう」とする。言葉もみんな英語がネイティブなわけではないので、多分ちゃんとした人から見れば何とか通じてるレベルなんだろうと思う。でもコミュニケーションをちゃんととっていきるのは楽しい。そして、「言わなきゃわからない」のが当たり前のことだと思える。

日本では「みんながだいたい日本語を話している」ので、割とみんな「みんな自分と同じ」だと思っている。だけれども、実はそれぞれ「違う文化」を持っていることはあまり意識されない。たとえば、わたしは両親と

もクリスチャンで「日曜日は教会に行く」のが当たり前だった。今は「家が教会」という状況なので行かないことはほとんどないけれども。でも学校の友達にとっては「日曜日は友だちと遊んだり家族と出かける日」だった。学校でも友だちはいたが、日曜日に遊びに行くことはなかった。

教会だって、教会ごとに結構文化が違う。「オルターは女性の仕事」という教会もあれば「牧師の仕事」「牧師の奥さんの仕事」という教会もある。やり方も教会によって微妙に違う。そのくせどの教会にも「うちのやり方こそ世界標準で当たり前」くらいに思っている人がいる。

子育てだって、教育だって、かつてと違うし、意外と地域性があるので難しい。苫小牧はスケートが授業であったりするが、僕は内地の出身なので滑れるわけもなく、幼稚園の子に「大人のくせにおかしい」くらいに言われてしまう。わたしたちはたっくさんのことを「これは当たり前」と思っている。でも本当はそうじゃない。よく考えればわかる。だってそれぞれ育った環境が

違うもの。地域も違うもの。教会だって経緯があって、やる人が違って、やり方が微妙に違ってることこそが「当たり前」だと思える。

わたしたちは教会の中で、お互いに「文化が違う」ということをもつと意識した方が良いのかもしれない。はつきり物事を伝え合った方が良いのかもしれない。教会の中で「これくらい常識」「当たり前」と思っていることこそ、もしもしたら宣教を妨げていたりするのかもしれない、とふと思う。そして大切なのは「文化が違う」ということは、どの文化にも価値があって、状況に応じて適用される範囲が違うというだけのこと。そして、それぞれに染みついた「文化」を変えるのって難しいってこと。でも、その違いがおもしろさにもつながるといえること。「教会」は特に多くの文化圏から多くの人が集る場所だ。だからホントはお互いに違うことを意識して「言わなきゃわからない」はず。でも、口に出してみると動くことはたくさんある。そんな場所をこれからも神さまの力を借りて、守っていければいいと思う。

—心の窓をひらく—

福音と私(二三四)



—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

帯広聖公会信徒

オーガスチン 橋本知樹



【好きな聖句】

はつきり言っておく。わたし
の兄弟であるこの最も小さい
者の一人にしたのは、わたし
にしてくれたことなのであ
る。

マタイによる福音書 二五章四〇節

貴方は「クリスチャン」
ですか？

・鏡に映るもの

或る時、主教様当地ご巡錫
の際、お説教の中でとても印
象深いお話しをされました。
ある会議で外国を訪問された



はクリスチャンか？」と問う
毎日なのです。

・「家」の宗教

私が物心ついた頃、小学二
年生位のある日、黒い服に白
い首輪のようなものを付けた
人がやってきました。木末登
牧師との初めての出会いでし
た。そして祖父糸之助が私に
「知樹ちゃん、この次の日曜
日から教会の日曜学校に行き
なさい。」(えっ？日曜もお勉
強するの？) 私と教会の最初
の関わりでした。でも国語や
算数の学習ではなく、「神様」
がいるらしいこと、「イエス」
という人が登場し、「聖なる
聖なる」という歌を唄い、最
後に何かカードをもらって帰
る。こんな日曜学校生活でし
た。始めのころは物珍しさも
あって通っていました。が、や
がて通うのをやめてしまいま
す。だって、毎回同じカード
なんですもの。その後祖父が
亡くなり、木末司祭の司式で
葬儀が行われ、あ、「家はキ
リスト教なんだ」と理解でき
るようになったのは中学生に
なった頃でした。

・義務感と青年会

高校一年のある日、再び黒
い服に白いカラーの牧師さん
が家を訪ねて来ました。当時、
帯広聖公会副牧師でおられた
成田邦雄司祭(現神戸教区)
でした。「若い皆さんを中心
に青年会を立ち上げようと思
っています。是非参加しませ
んか？」との誘いで、女子
高生もいるらしい、何か楽し
そう、との短絡なききっかけで
再び教会の門をくぐる事とな
りました。今も思い出として
青年会活動は本当に楽しいも
のでした。

高校二年の時に受洗しました
が、その時の思いは、「我が
家にとって初代のクリスチャ
ンは祖父、父はあまり教会に
熱心ではなく、信仰の系譜を
絶やすわけにはいかない。な
らば・・・」という半ば義務
感が先に立っていたように思
います。

・教会渡り鳥

大学時代、横浜山手聖公会
で受按。卒業後、郷里に戻り
結婚、第一子が聖公会幼稚園
にお世話になる頃まで暫く疎

遠な期間がありました。クリ
スマスイブのキャンドルサー
ビスに出席しことが、再び教
会と関わる縁となりました
が、その後転職したこともあ
り、転勤人生とともに教会渡
り鳥が始まりました。中部教
区・飯田聖アンデレ教会、松
本聖十字教会、北海道教区・
函館聖ヨハネ教会、札幌聖ミ
カエル教会、旭川聖マルコ教
会、札幌キリスト教会、何れ
も三年前後の在籍期間でした
が、同じ聖公会の聖霊のお恵
みに与りながら過ごさせてい
ただき、帯広に戻りました。
今こうして信徒の末席にお
り、教会との関わりを続けて
こられたのも、絶えず主の導
きがあったればこそと感謝す
る次第です。

・願い事

幸いにして、私の子どもの
代まで信仰の承継は為されま
した。願わくは孫たちにこの
信仰が、教会との関わりが保
たれることを願っています。譬え
御前に御捧げします。譬え
「家」の宗教であっても、お
導きがありますように。

常置委員会報告

第四回 二月二二日

《協議事項》

- 一、北海道胆振東部地震により被災した平取聖公会の件
- ・現在調査中で診断を待ち、結果次第今後の対策を考え
- 二、教区礼拝説教者の件
- ・中部教区洪澤一郎主教をお招きする事を承認した。
- 三、東アジア地域首座主教会議の件(五月 於・濟州島)
- ・植松主教の出張を承認した。
- 四、人事異動に関する件

る。

・主教より提案の諮問を協議し同意した。

五、教区事務所人事に関する件

・事務所職員人事について協議した。

六、深川あけほの保育園改築に関する件

・先の予算案に対し、補助金の減額が有り、協議した。

七、稚内、厚岸聖オーガスチン教会の件

・今後の継続審議とする。



主教室より

「あぶないー！ ぶつかるーっ」。昨年一二月の日曜日、新札幌聖ニコラス教会への巡回に行く途中、交差点に停車していた車の中で、私は大声で叫びました。ツルツル路面で、私の車もやっと止まってほっとしてバックミラーを見た瞬間、後ろから大きなワゴン車かなりのスピードで突っ込んでくるのが見えたのです。ドーンという大きな衝撃音と共に私の車は前に押し出され、前の車に追突。私はハンドルをきつく握り、とっさに身構えたので大丈夫でしたが、助手席の妻は、私の叫び声を聞いても、その瞬間に衝撃があり、

軽いむち打ち症になっ
てしまいました。その一〇秒後くらいに、さらにもう一台の乗用車がやはり止まりきれずに突っ込んできて、もう一度、ドーンと前に押し出され、前の車にも再追突。私の車のトランク部分は大破。パトカーが五台も駆けつけて来て、事故検分が始まりました。四台の車が関係する二重事故でしたので、検分が終わったのは一二時近く。幸い私と前の車には過失はまったくありませんでした。聖ニコラス教会には電話で、「み言葉の礼拝」を始めておくようにと指示し、やっこのことで教会にたどり着いて、すぐ洗礼・堅信式と聖餐式の感謝聖別。説教は私の

ずでしたが、着いた時には、牧師補の執事が、きちんとその役を果たしてくださっていました。昨年一月の教区会で、主教の車を購入するようにというご意見があり、私は、まだまだその必要がないと突っぱねていたのですが、この事故で車は廃車となり、早急に車が必要というところで、常置委員会や財政部長、教区事務所、いろいろな方の手配で、昨年暮れに新しい主教車が入りました。

ガソリンの高騰、長距離の巡回、さらに次の教区主教のことも考え、この車が、主の御用のために大いに役立つことを願っています。

主教 ナタナエル 植松 誠

堅信式受領

おめでとう

- 旭川聖マルコ教会
- ジュリアおたあ えびな 由美
- オーガスチン あびこ 安彦 大輝
- クララ 安彦 瞳
- ガブリエル 安彦 祐輝

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

(二月一七日)

四月一〇日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

- | | | | |
|----|-----------|-----|------------|
| 司祭 | ジョン・バチラー | 伝道師 | 江賀 寅 三 |
| 司祭 | 宇田 梅太郎 | 伝道師 | 一九六八年四月二八日 |
| 司祭 | 一九五一年四月三日 | 伝道師 | バチラー八重子 |
| 司祭 | 上田 一良 | 司祭 | 一九六二年四月二九日 |
| 司祭 | 一九七二年四月五日 | 司祭 | 篠塚 長治郎 |
| 司祭 | 天城 英明 | 司祭 | 一九五〇年四月三〇日 |
| 司祭 | 二〇一〇年四月五日 | | |



執事 ヨハネ 細矢勝司 逝去

恵愛する細矢勝司先生が去る二月九日、心不全のため逝去されました。

細矢先生は昨年一月の聖職按手式において福音書朗読を執事としてつとめられました。その声は力強く、私たちの記憶に新しいものでした。

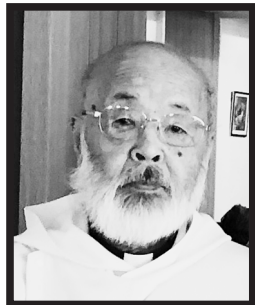
尚、葬送式は、主教植松誠師父司式、説教は寺本睦夫司祭が奉仕されました。北海道教区主教聖聖堂（札幌キリスト教会）は、全道から集まった聖職・信徒であふれ、細矢先生をいのちの源である主に委ねました。

神と人を愛することを証された故細矢勝司執事を想う

司祭 パウロ 寺本睦夫

およそ二〇年程前のこと、帯広市緑ヶ丘にある「百年記念館」に所用で行った時、講話室の廊下を歩いていると、聞き覚えのある声が聞こえたので部屋をのぞいてみると、その頃市内の校長先生を定年退職された細矢先生のお声でした。

当時市教育委員会帯広百年記念館郷土史調査員を嘱託さ



故 細矢勝司 執事

れておられたのです。細矢先生はいかにも楽しそうに来場者に十勝の歴史について講義されておられました。それはまさに先生のライフワーク、そのものでした。郷土史の先生 細矢先生は読書が大好き。かつて私が司式して建てられた自宅の書齋には各種の書籍が満ち溢れておりました。

しかし、細矢先生が心底望まれていたことは別なところにあったのです。ある年の教役者会の折、たまたま細矢先生と同室となり、二人は時を忘れて夫々の生涯について語り合いました。彼はその時「私が子どもの頃から憧れていたのは自分が牧師になることでした」と静かに話されました。かつてサラリーマンであつた私に「寺本君、君、牧師になりたまえ」と突然言われ、それに従った私の場合とは大きな違いと私はその時驚いたことを思い出します。しかし彼の幼いころからの願いも目標も彼の願いどおりにはならず、彼は教師になる教育大学を選び進んで行きました。長年奉職した教職を定年退職し二〇〇〇年から三年間聖公会幼稚園園長として勤務されたことは彼にとつて喜びの時であつたでしょう。しかし、彼の人生の目的は牧師になることでした。彼の願い、想いは何歳になっても変わらず、ついに二〇〇四年、教区聖職候補生に認可され、牧師への最後の道を歩み始めました

主が彼・細矢先生のために備えた道、それは決して平坦なものではありませんでした。多くの人にはあまり知られていない苦難の道。しかしその時彼を支え、その道を越え進ませてくださったのは主なる神様であり、常に彼の側に居た満子夫人であつたと思います。夫人は人生の半ばで病を得、お体も不自由な生活でしたが、細矢先生は愛車

に「フルクスワーゲンを駆って出かけていらしたようです。教会にもいつもご夫婦揃って出席し、ともすれば下を向きそんな悩める人々が、夫人の笑顔によって励まされ、楽しい気持ちに変えられました。その最愛の満子さんを失った細矢先生はその後、月命日には必ず墓地に夫人に会いに出かけたようです。ハレルヤ 主とともに行きましょう！

聖餐式の最後の言葉は細矢執事のこの言葉によつて結ばれました。ハレルヤ主とともに行きましょう。彼の叫びがいつも礼拝堂に響きました。

司祭 グレゴリー 松井新世
過日、細矢執事の葬儀の補式をいたしました。この一ヶ月ちよつとで、四件の葬儀奉仕とお世話になつた方の葬儀一件に参列しました。日々は頭から離れている「死」という大物が、ドスン、ドスンと現れてきているようで、しかし愛すべき方ばかりです。「死」とはいえ「祝福」として受け取らざるを得ない瞬間、瞬間であり、同時に疲労感も重いものでした。

細矢執事の葬儀には、み言葉の朗読奉仕をさせて頂きました。説教は寺本司祭によるもので、見事に細矢執事の証を宣言されました。礼拝後の祈りを主教様より突然指名されましたが、これまでの細矢執事への思いに、胸が詰まり、皆様方の分も合わせて、涙を流しました。

細矢執事は既に退院が決まっています、前日に今後の療養計画が相談されていたと聞き、どおりでと、その顔が普段通りであることに納得がいったのです。寝ているだけなのか、ひげを触ってみましたがやはり起きません。棺に寝てはいますが、すくつと立ち上がり、いつも通り「主は皆さんと共に」「聖々による福音書」「主に栄光」と福音の宣言をするかのごとく思わされました。そして当日の福音書朗読が、阿部恵子執事、何だか細矢執事からのたすきが渡つたようで、まことに印象深い葬儀でありましたことをご報告いたします。

公 示

救主降生 2019年2月13日
日本聖公会北海道教区
主教 ナタナエル 植松 誠

以下の人事異動を行います。

執事 エリザベツ 阿部 恵子 2019年5月31日付で、札幌キリスト教会牧師補の任を解き、同年6月1日付で、帯広聖公会牧師補及び帯広聖公会幼稚園チャプレンに任ずる。

執事 ノ ア 上平 更 2019年6月1日付で、札幌キリスト教会牧師補に任ずる。(新札幌聖ニコラス教会牧師補と兼任)

司祭 ヘレン 木村 夕子 2019年4月1日付で、道北分区における協働司祭に任ずる。(任期1年)

司祭 クリストファー 永谷 亮 2019年5月31日付で、帯広聖公会協働司祭の任を解き、同年6月1日付で、帯広聖公会管理牧師に任ずる。

司祭 グレゴリー 松井 新世 2019年5月31日付で、帯広聖公会管理牧師及び聖公会幼稚園チャプレンの任を解く。

司祭 パウロ 内海 信武 2019年4月1日付で、平取聖公会及び新冠聖フランシス教会での囑託司祭、またバチラー保育園チャプレンを委嘱する。(委嘱期間1年)

司祭 アンデレ 甲斐 博邦 2019年4月1日付で、道北分区における協働囑託司祭及び深川あけぼの保育園チャプレンを委嘱する。(委嘱期間1年)

司祭 ダビデ 藤井 八郎 2019年4月1日付で、函館聖ヨハネ教会及び今金インマヌエル教会での囑託司祭を委嘱する。(委嘱期間1年)

聖職候補生志願者

エリサベト 三浦 千晴 2019年4月1日付で、聖職候補生に認可する。

二〇一九年

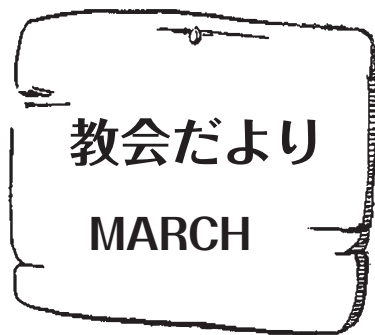
北海道教区の聖歌

礼拝委員会よりの提案です。

今年の教区のみ言葉(宣教標語)が一月号の「北海の光」に掲載されましたが、このみ言葉を歌うことを通しても味わい、より身近に感じることができるようになりたいという願いから、今年の教区の聖歌を選びました。「望み満つる わが主よ」(四七四番)です。

労苦が報われることを信じ、喜びにあふれつつ主の御業に励んでいきましよう。集会で、キャンプ等のご家庭で折に触れてこの聖歌を口ずさみ、今年のみ言葉を味わいましょう。





▽旭川聖マルコ教会

二月は、二八日しかなく、あつという間に過ぎ去って行きました。プラスの気温になる日も増えてきましたが、まだまだ寒さが続きます。

二月三日被献日、レクイエムの礼拝。婦人会主催で桜餅をいただき、お祝いの会を開きました。お題「節分」でマルコお楽しみ句会が開かれました。二月一七日、植松主教と三千代さんが巡回くださり、四名の方が堅信の恵みを授かりました。祝会では恒例となった「マルコもぐら」のマジック、コーラスなどで楽しい時間を過ごしました。お楽しみ句会より「被献日のマルコ句会や春近し」

▽岩見沢聖十字教会

二月三日、旧美唄教会の西川ご夫妻、新園舎になってから初めての礼拝。大友司祭ご夫妻と共に再会を喜び合う。

昨年クリスマス献金の一部を市立図書館に絵本代として寄付。手渡した山本悦子姉と記事が地元紙に掲載。

一七日、教会総会。過年度及び新年度の各議案について全て了承される。主に感謝。

月末、札幌で超教派の北海道ケズイック・コンベンション大会が開催。畠山洋子姉が参加して恵みに与る。聖公会からは大友正幸司祭と飯野正行司祭が委員としてご奉仕。

▽留萌キリスト教会

読書会が始まる二月、「種子法」を特集した中部教区学生センター報をじっくりと読みました。農業を生業とする小林さんと共に、種子の種類が豊富に保たれる事の大切さや、種子の商業開発の問題点について、我が家の台所・暮らし・健康と直結する事として危機感を感じて学びまし

た。

金岩美穂子さんは目の手術を無事に終えて、活気フル充電で教会に戻られました。台所で弾ける笑い声が一段と大きく響きました。そして、花田静香さんの働く手に、今月も大いに助けられました。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

三日、前田信徒奉事者司式によるみ言葉の礼拝。被献日の祈りと献金をお捧げする。

一〇日、最強寒波でしばらく釧路に、主教様ご巡回。厚岸教会からも一名出席。祭壇に桜の花が生けられ、礼拝堂は春の空気に包まれる。礼拝中教会委員・信徒代議員の任命式、信徒奉事者の祝福式を行う。新たに女性二名が、信徒奉事者に認可される。主のご加護を祈ります。愛餐会では主教様のお誕生日を祝う。

一七日、礼拝後、オリーブ会で世界祈祷日の打合せ。頌栄保育園は卒園式の準備で忙しい日々が続きます。

二四日、教会運営に尽力さ

れたアンブローズ山本壽福さんが、天に召されました。魂の平安とご家族に主の慰めがありますように祈ります。

▽小樽聖公会

昨年の一二月から洗礼準備が重ねられてきた、石田知世子さんが、天候にも恵まれた二月一七日(日)に、永谷司祭による司式のもと洗礼を受けられ、初陪餐の恵みにも与りました。教名は「ヒルダ」をいただきました。神さまの家族に新たに加えられた喜びをともにし、一同洗礼の意味を改めて覚えるときとなりました。堅信式は主教巡回日に合わせて行われる予定です。

二月下旬には三年ぶりに教会玄関前の市道に小樽市の排雪が入り、車の出入りがしやすくなりました。

▽新冠聖フランシス教会

内海司祭は二月一〇日の顕現後第五主日より聖務に復帰することが出来ました。思えば、不在の間の「信徒総会」の際も主教様の巡回日であり、すでに神様の御計らいが

そこにあつたのだ、ということとを思わざるを得ないことがありました。

二四日は大斎節に入る前の最後の聖餐式でした。どうやら寒さも底を打ったようで、日差しも強く感じられます。例年ですと、この時季には山のカケスが訪れていましたが、今年は見られません。ますます春近しでしょうか？

▽帯広聖公会

二月はことの外寒い日が続きました。三日、松井司祭に司式をいただいた後に堅信受領者総会が開かれました。うれしい知らせは六月から阿部恵子執事が赴任されることです。牧師館に常時人がいることは信徒にとっては心の拠り所になると思います。信徒動向、二月末日磯野悠香さんがお仕事の関係で京都に移られることになりました。九日、長い期間に渡り帯広聖公会でもお仕事をされた細矢勝司執事が札幌で天に召されました。魂の平安をお祈り申し上げます。

▽稚内聖公会

一月中旬にやって来た寒波！

昨年以上の寒い冬か？と覚悟していたが、節分を境に比較的暖かい日が続く。「暖かい」とは言ってももちろん風の強い稚内ではあるが・・・。昨年は屋根の雪下ろし二回、止めてあった水道がそれでも凍って難儀したが、今年はそのような心配はなさそう。教会のまわりは近隣の加治さんが除雪して下さり、郵便物もきれいに整理してもらっている。ありがたい。本原満栄さんも元氣にお過ごしである。へノシャップや軒に鱈干す修女院 わぶん

▽新札幌聖ニコラス教会

二日道央分区の被献日礼拝が当教会で行われました。吹雪の中、六教会、八二名の参加者がありました。小さい教会にたくさんの人を迎え入れるのに、教会員全員が協力し、知恵を絞り入念な検討を重ね、とどこおりなく終えることが出来、ホッとしました。

講師に「浦河べてるの家」の

向谷地生良先生をお迎えし、当事者も参加し、目の前で当事者研究をしているようでした。自分と違う感性を持つている人を前にしたら皆さんはどうなさいますか、という問いかけが印象深かったです。

▽札幌聖ミカエル教会

意外と雪の少なかつたこの冬、幼稚園の雪山も例年より小さくなった印象です。

二日の婦人会道央分区被献日礼拝には八名が出席しました。一四日、今年度最後のなかよしランチ。婦人会が幼稚園のこどもたちのために腕を振るいました。今回も大好評。二二日、ロザリオの祈り。出席者が自分の言葉でとりなしの祈りを捧げる。同日、幼稚園保護者のための聖書講座、今回は上平執事がご奉仕くださり感謝。三月末の国際青年寮閉寮に伴い、付属施設将来構想検討委員会を設置、幼稚園の今後も見据えながら教会の明るい未来を描いています。

▽聖マーガレット教会

一三日、婦人会がお仕事会で、紙バンドの編みカゴを作成して下さりました。一七日、み言葉の礼拝。毎月第三週の主日では、信徒奉事者木村淳さんの司式により、み言葉の礼拝をお捧げしています。これまでのみ言葉の礼拝では、説教に代えてヘンリ・J・ノウエン著「今日のパン、明日の糧」の朗読により神様の恵の分かち合いをしており、今後は信徒による証も予定されています。寒さが厳しかったせいか、礼拝参加者数がやや少なく、寂しいところもありましたが、新たな洗礼志願者も得て、大きな喜びもある二月でした。

▽札幌キリスト教会

二月二日、道央分区婦人会の皆様と共に新札幌聖ニコラス教会に集い被献日礼拝が守られる。当教会からは三四名が出席、昼食時の交わりに加え「浦河べてるの家」での精神障害者への福祉活動を通して教会の役割が解る学びの充

実した時間を過ごしました。

九日、かねてより入院加療中であつた執事ヨハネ細矢勝司師が急逝され、一日夕刻の葬送式は植松誠主教様の司式と帯広聖公会、寺本睦夫司祭のお説教を賜り、長きに渡るご奉仕への感謝と、召されし霊の平安を祈る。二二日から開催の聖公会全国青年の集い(DJ26)は三名の参加でした。

▽函館聖ヨハネ教会

二月中旬は、大変寒い日が多くありましたが、積雪は昨年にならぬと、このまま春を迎えそうです。そんな中、第一主日礼拝後、日曜学校では雪遊び。参加は、藤井家二人でしたが、ソリ遊びに慣れている様子、観光客の拍手を浴びていました。最後はお汁粉を食べ、ホッカホカ。

▽有珠聖公会

第四週の帰り際、年代物の雛人形をご婦人たちが茶箱から出していきます。「弓矢はここ、あら牛車が壊れている、五人雛子のほかに五人居るわ」楽しそう、皆さん乙女の顔。

今年の聖堂コンサートの日

程が決まりました。沢山の地域の人が集まる教会です。

▽平取聖公会

一月の第四日曜日の信徒総会の日が主教巡回の日と重なり、内海牧師が入院手術で欠席でしたので、管理牧師の主教が議長で総会が行われました。昨年の地震の被害について報告がされ、どのように修繕するか今後教会委員会で検討することになりました。その中で主教から、北海道教区への地震見舞金があることが示されました。今後工事積りと専門家の意見をいただきたい検討をし、見舞金の利用申請も検討して修繕を進めたいと考えています。保育園の卒園式が真近です。

▽有珠聖公会

二月二四日、植松主教様の巡回をいただき聖餐式。礼拝後、主教様臨席のもと、堅信受領者総会を開催。一〇名の現在堅信受領者全員の出席に加え、教友多数の参加を得て、

和やかに・賑やかに新たな一年の歩みについて話し合いしました。三回目となる「三浦綾子読書講演会」を、四月二九

喜びのうちに作物を刈り取れる様に努力して行きます。もうすぐ種の祝福です。

ふるまわれ、楽しい交わりの時が持たれ感謝でした。幼稚園ではインフルエンザ流行による臨時休園もありました

なった日もありました。三日藤井兄によるみ言葉の礼拝。被献日の特祷も読まれました。一〇日吉野司祭による

切にしてきたもの」を輪読まもなく読了予定。二七日保育園の礼拝で、旧園舎解体前に、園児と共に園長室、玄関、

日の午後二時から開催します。三浦綾子文学記念館の森下辰衛先生をお迎えし「愛の鬼才 西村久蔵の歩んだ道」を取り上げて学びます。花の咲く頃です。有珠まで足を運んでみませんか。

肌を刺す風の冷たさに流水の到来を感じる日々。一〇日に、信徒総会が開催され、昨年の活動報告と予算、今年度の活動計画の予定が報告された。信徒の減少に伴い、教会としてどうそれに対応するかが活発に議論された。二四日和田昭子姉の逝去記念式が行われ、親族、関係者で故人の魂の平安を祈った。来月の世界祈祷日の当番教会として準備が進められている

が、園庭では毎日のように子どもたちが雪遊びを思いきり楽しんでいました。卒園児たちの残り少ない園生活も豊かなものになりますように。

式。久し振りに平さん、長女の福島さん(東京)が来られました。ようやく春らしくなり雪どけが進みそうです。婦人会は会長が白藤姉、会計が田中姉と決まり、少ない人数ではありますが頑張っています。

お借りしている空き地の地面が出て来ました。春はもうそこまで来ているんですね。二月九日世界祈祷日準備会が日本キリスト教会北見教会であり司祭が出席してまいりました。この日は零下二六度を記録していたので皆様頑張ってお出されたことと思います。二五日YMCAの教会体験ということで、年長組九名が来会、聖卓や聖具類の解説と、まもなく小学生となる彼らに励ましのメッセージを語りました。「この冬は雪が少なかつたね」との言葉があちこちで聞こえる北見です。

▽今金インマヌエル教会

二月一〇日と二四日に礼拝が守られました。今までは考えられない程の暖かさが続いた二月。もしかして、ひと月近く季節が早まっている様な気さえます。私共農家の人間はこんなに天気が良いと太陽さんに尻をたたかれて黙っていられなくなる。そんな人種です。こうなると又いらぬ心配をし始めて今こんなに良いのなら種をまく時、天候が悪くなり作業が進まないのではとか、生育期に雨が続いてしまうのではなどと思いがちですが、結局今年も感謝の気持ちを持ち続け働き、

主はこの小さな群れを守り、祝福して下さっておられる。

立春に「錦多峰川沿いに落のとうが芽吹き始めた」との新聞報道の後、大寒波が来たり、四月並の気温や降雪で春は足踏みです。三月の委員会では五月二六日胆振三教会礼拝に主教様巡回の希望を出す事又大斎節の予定の確認をしました。ハンナの会では信徒、そして家族約百名にみ言葉を書いた美しい誕生カードを送っています。長いお働きに感謝します。ジャム・味噌作りは信徒や園の父母が共にやっております。三月からオルターに男性も入りました。

二月三日宣教開始百二一年の信徒総会と婦人会を開く。主の教会のために働くことをよろこび前進を期す。一三日保育園職員会議、引越の相談も深まる。一四〜一五日園長・チャプレン協議会に岡本園長、甲斐チャプレン出席す。一七日婦人会、佐々木静会長

の呼びかけで西原廉太司祭の素晴らしい著書「聖公会が大

▽紋別聖マリヤ教会

流水まつりのころまでは本当に寒かった紋別でしたが、あつという間に流水も去り三月を思わせるような速さで雪解けが進んでいます。二月の第一週の礼拝後は、恒例(？)の阿部司祭宅での新年会でした。今年も美味しい手料理が

▽室蘭聖マタイ教会

比較的あたたかい室蘭でも最高温度がマイナス一〇度に

▽深川聖三一教会

二月三日宣教開始百二一年の信徒総会と婦人会を開く。

の呼びかけで西原廉太司祭の素晴らしい著書「聖公会が大

